

第 391 回 狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 令和 4 年 9 月 7 日（水）午前 9 時 46 分～ 9 時 55 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長
副本部長 平林副市長
副本部長 柏原教育長
本部員 高橋企画財政部長
本部員 石橋総務部長
本部員 鈴木市民生活部長
本部員 小川福祉保健部長
本部員 片岡子ども家庭部長
本部員 門井環境部長
本部員 小俣都市建設部長
本部員 小川議会事務局長
本部員 上田教育部長
事務局 富田政策室長
大久保企画調整担当主事
- 4 欠席者
- 5 議 題 1. 令和 4 年度内部評価結果報告書（令和 3 年度実施事務事業評価）（案）
について
2. その他

6 会議概要

本部長 それでは、議題 1 「令和 4 年度内部評価結果報告書（令和 3 年度実施事務事業評価）（案）について」説明をお願いします。

事務局 令和 3 年度の予算事務事業について、各課に評価を依頼し、報告書（案）として取りまとめた。資料の 2 ページのとおり、評価対象については、293 事業として、それぞれを狛江市前期基本計画の体系図の内容や方向性と照らし合わせ、A から D までの 4 段階で評価を行った。なお、本報告書では、資料 3 ページにあるとおり体系図の施策によって、各事業を割り振っているが、複数の施策に跨がる事業については、施策毎に評価を行っているため、同一事業でもそれぞれの施策に対する進捗状況によって、評価が異なるものがある。

評価基準については、「A：進捗している」「B：現状維持」「C：あまり進捗していない」「D：進捗していない」としているが、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響によって、事業等を縮小・制限実施したものについては「B」、事業事態を中止したものは「D」とし、その中でも検討等を行ったものについては「C」と評価している。また、新型コロナウイルス感染症が事業の実施に影響したものについては、「※」マークを付けている。評価結果については、全 293 事業中、A 評価が 51 件、B 評価が 233 件、C 評価が 6 件、D 評価が 3 件となった。なお、そのうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業数は、57 事業となっている。資料 6 ページ以降に各事業の取組内容や評価の理由等を掲載している。

今後のスケジュールについて、9 月 12 日の 15 時までに、各部において確認いただき、その後、内容を修正の上、改めて来週の行財政改革推進本部会議におい

て、審議いただきたいと考えている。

本部長 何か質問・意見はあるか。

本部長 各課からの提出された内容を取りまとめたという話だが、評価にばらつきがある。基準はどう担保しているのか。

事務局 事務局で気づいた点は指摘している。

副本部長 課長会には付議していないのか。

事務局 従前より本件については付議していない。

本部長 やはり個別調整よりも一堂に会して議論しなければばらつきは調整できない。改めて課長会に付議するのか。

本部長 本部会議に提案された以上、本部会議メンバーの責任でその任を担う必要があるのではないか。

副本部長 それで構わない。実績数値が入力されている部分については、部長が責任をもって決算資料、統計こまえとの突合を行うこともお願いする。

本部長 それでは、以上の指摘を踏まえ、各部長において責任をもって確認をすること。他に質問・意見等なければ、内容について、各部署で確認することとし、他になければ、第391回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。